

【第7回アフリカ開発会議サイドイベント】

100万人の農家に市場志向型農業振興（SHEP）を

国際協力機構（JICA）は、8月29日、ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテルにて、市場志向型農業振興（SHEP: Smallholder Horticulture Empowerment & Promotion）アプローチをテーマに、国際農業開発基金（IFAD）との共催でサイドイベントを開催しました。セネガル農業大臣、ケニア農業省次官等アフリカ地域各国行政官、開発パートナー、NGO、民間企業関係者を迎え、130名を超える参加がありました。

2006年にケニアで始まったSHEPアプローチは、「作ってから売る」から「売するために作る」への小規模農家の意識変革を起こし、所得倍増へとつながりました。2013年のTICAD Vでアフリカ10か国へのSHEPアプローチの展開が公約され、現在、アフリカ24か国に広まっています。これまで約11万人の小規模農家がSHEPアプローチに触れ、所得向上、営農力の向上、男女の役割改善等、様々なインパクトがもたらされており、国際機関やNGO等にも注目されています。また、小規模農家が農業をビジネスとして捉え、農業への投資を重視するようになることは、小規模農家をビジネスパートナーとする民間企業にとっても大きなメリットがあります。SHEPアプローチの活用を通じたより多くの小規模農家の生計向上を目指し、関係者が一堂に会しました。

本イベントでは、JICA 加藤理事の挨拶、大串衆議院議員による祝辞、IFAD ウングボ総裁の基調講演、マラウイ代表者からの成果発表がなされ、「SHEP100万人宣言」に加わるアフリカ各国代表、ササカワアフリカ財団（SAA）常務理事、伊藤忠商事、三井物産代表者から、SHEP の今後の取り組みに係る紹介がありました。その後、SHEP 発祥の国、ケニア農業省の次官より「SHEP100万人宣言」が読み上げられました。

最後にセネガル農業大臣より閉会挨拶があり、アフリカ各国及び関係パートナーが一体となり、より多くの農家の生計向上実現への決意を表明しました。

■本イベントの主な登壇者

【開会挨拶】

- ・加藤宏 JICA 理事

【祝辞】

- ・大串正樹 衆議院議員

【基調講演】

- ・ジルベール・ウングボ IFAD 総裁

【発表者】

- ・ピアソン・ジャシ・ソコ マラウイ農業・灌漑・水資源開発省チーフアグリビジネスオフィサー

【宣言メンバー】

- ・加藤宏 JICA 理事
- ・ジルベール ウングボ IFAD 総裁
- ・ムサ・バルデ セネガル農業大臣
- ・ハマディ・イディ・ボガ ケニア農業省次官
- ・ハウゼ・アンディル・マクスウェル 南アフリカ農業省次官補
- ・ラナリヴェル・ファヌメザンツ・ルシアン マダガスカル農業大臣（代理）
- ・ピアソン・ジャシ・ソコ マラウイ農業・灌漑・水資源開発省チーフアグリビジネスオフィサー
- ・井関ふみこ ササカワアフリカ財団常務理事
- ・伊藤忠商事 大谷俊一 執行役員 兼アフリカ総支配人
- ・三井物産 成田有一 ニュートリションアグリカルチャー本部

【閉会挨拶】

- ・ムサ・バルデ セネガル農業大臣

■写真





■関連する SDGs ゴール :



●関連リンク

- ・ SHEP アプローチと広域化について (JICA ホームページ)
<https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/approach/shep/about/index.html>
- ・ SHEP の取り組み (JICA ホームページ)
https://www.jica.go.jp/activities/issues/agricul/approach/shep/practical_use/now/index.html